

教育ヴィジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(16)



活動日時 2019年2月21日(木) – 2月23日(土)

活動従事者 桑山尚司、大坂遊（教育研究推進員）、守谷富士彦（教育研究推進員）、迫有香（広島県立教育センター・指導主事）、佐々木孝（広島県北部教育事務所・指導主事）



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ヴィジョン研究センター（EVRI）」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会（提案自治体：広島県）が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家の派遣で協力しています。2月21-23日にEVRIメンバーの桑山・大坂・守谷と、広島県北部教育事務所の佐々木孝指導主事、広島県立教育センターの迫有香指導主事がカンボジアへ渡航しました。

今回の目的は、昨年12月の渡航に引き続き「新シラバスの理念を実現するにはどのような教科書が望ましいか」を、授業研究を通して検討することです。あわせて、今年度の取りまとめ会合に出席し、広島側から見た成果と課題を報告します。

21日と22日には、現地の教科書開発者や学校教員とともに、中学校3年生の歴史「民主カンブチア時代」と小学校6年生の地理「位置と座標」の授業研究に取り組みました。現地の教員と指導主事が、現行教科書と新モデル教科書を使った授業をそれぞれ示範し、授業観察をふまえて教科書のあり方について協議しました。

23日には教育省の取りまとめ会合に参加し、社会科教科書開発スタッフとともに、教育省関係者らに今年度の成果報告を行いました。カンボジアの教育関係者の間で、新シラバスの理念を実現するために、授業のあり方を多様化すべきという認識が形成されていることが確認できました。

EVRIは引き続き広島県教育委員会と連携しながら、支援を続けて参ります。



教育ヴィジョン研究センター（EVRI）

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

<http://evri.hiroshima-u.ac.jp/>

EVRI HP/Facebook

